





No. 2

エムポックス (旧称: サル痘) と診断された方や感染が疑われる方へ

他の人への感染を防ぐために

エムポックスに感染したら、すべての発疹が治り、表面が通常の皮膚に覆われるまでの間は隔離(自宅で待機)することが推奨されています。他の人から距離をとること、自分が触ったものを他の人とシェアしないことが、他の人のエムポックスの感染を防ぐことにつながります。また、動物にも感染するので、ペットや家畜などの動物から距離をとることも重要です。

自宅などの屋内でひとりで過ごすことで、他の人を感染させるリスクを下げられます。

下の表に生活の場に合わせて感染予防策を示していますので、可能なかぎり予防効果が高い方法を実行することが勧められます。

症状が出始めてからすべての発疹が完全に治り、表面が通常の皮膚に覆われるまで、 次に示すことがらに気を付けて過ごしましょう

_ 次に示すことがらに気を付けて過ごしましょう								
生活・活動の場					他の人への感染のリスクと予防策			
			低リスク		中リスク		高リスク	
居室・寝室 (リビング ルーム・ベッ ドルーム)	過ごし方	家で一人でいる。 エムポックスに感染している人しか 居ない場所で、一人でいる。 		家や施設内で、エムポックスに感染 していない人たちとは別の部屋に いる。		他の人と同じ部屋にいるが、密接な 接触を避けている。		
HI V	家具など の感染防 止策		洗濯できない布張りの家具や 多孔性の素材のもの(例:スポ ンジ、珪藻土マットなど)は、 シーツ、モンス		洗濯できない布張りの家具や、 多孔性の素材のもの(例:スポンジ、珪藻土マットなど)は、 シーツ、毛布、防水シートなど で覆っている。		他の人とベッドをシェアしな い。	
			で覆っている。		ドアノブやカウンターなどの表 面を、使用するたびに消毒して いる。		ドアノブやカウンターなどの 表面を、使用するたびに消毒 している。	
	マスクの 種類と着 用・患部 の保護				他の人と一緒にいるとき、不 織布マスクを適切に着用し、病 変部を覆っている。		他の人が周囲にいるときは、 不織布マスクを適切に着用し、 病変部を覆っている。	
浴室	過ごし方	他の人とシェアしていない。		他の人とシェアしている。		他の人とシェアしている。		
トイレ 洗面所	場所の共 有		独立した浴室を使用している。	s	表面(カウンター、便座、蛇口、 シャワー、浴槽)を使用するた びに消毒している。		頻繁に清掃されているが、浴 室をシェアしている。	
	グッズの 共有		タオルや歯ブラシなど洗面所 のものをシェアしたり、同じ コップで飲んだりしないよう にしている。		タオル、歯ブラシ、コップをシェ アしないようにしている。		シェアするものを使用するた びに、洗浄している。	
シェアするもの (布地類[寝具、タオル]、 衣類、食器類[調理器具 を含む]など)				剤(a	他の人が使うものは、使うたびに洗 剤(または石けん)と水でよく洗って いる。			

生活。活動の担		他の人への感染のリスクと予防策				
生活・活動の場 		低リスク	中リスク	高リスク		
日常品などの購入や治療のために外出するとき	外出頻度	自宅から出ない(緊急時を除く)。 すべての物品は、他の人と直接接触することなく 配送してもらっている。	病変を完全に覆い、不織 布マスクを適切に着用し た上で、緊急時や必要な 時だけ外出する。	病変を完全に覆い、不織 布マスクを適切に着用し ているが、外出し、できる だけ制限しながら日常活 動をしている。		
	公共交通機関の利用		外出の際は、徒歩、自転車 または自分で運転する。 公共交通機関の利用を避 ける。	公共交通機関の利用を避ける。 ほかに手段がない場合は、 混雑する時間帯を避け、 他の人とできるだけ距離 を置いている。		
	シェアリングサービスの 利用など		カーシェアリングなど、乗 り物を共有する場合は、 消毒する。 誰かと車に同乗しない。 (関連するサービスも利 用しない。)	同乗する場合、乗車人数 を少なくし、運転手との 距離をできるだけ取り、 マスクを着用し、可能で あれば窓を開けておく。		
* エムポックスの患者さんは、感染する可能性のある期間は自主隔離を推奨。 推奨される期間中に仕事を休むことができない場合、雇用主と協力して対応する必要があります。	仕事の環境	仕事のために外出しない。 テレワークをする。	病変を完全に覆い、不織 布マスクを適切に着用する。 他の人から離れた独立し た空間で作業している。 職場にいる時間をできる だけ短くしている。 休憩室、トイレ、会議室な どの共有スペースを使用 していない。 仕事を終えたら、作業台 面を消毒する。	病変を完全に覆い、不織 布マスクを適切に着用す る。 同僚やその他の人々と自 分との間にできるだけ距離を置く。 休憩室、トイレ、会議室な どの共有スペースで、他 の人が使用する可能性の ある表面は、清掃・消毒を する。		
	公共交通機関の利用		通勤は徒歩、自転車、また は自分で運転する。公共 交通機関は利用しない。	公共交通機関の利用を 避ける。 ほかにオプションがない 場合は、混雑する時間帯 を避け、他の人とできる だけ距離を置いている。		
	シェアリングサービスの 利用など		カーシェアリングなど、乗 り物を共有する場合は、 消毒する。 誰かと車に同乗しない。 (関連するサービスも 利用しない。)	同乗する場合、乗車人数 を少なくし、運転手との 距離をできるだけ取り、 マスクを着用し、可能で あれば窓を開けておく。		
ペットと暮らす		家の中のペットや、その他 の動物(特にほ乳類)との 接触を避けている。	ペットやその他の動物をなでたり、触ったりすることを最小限にしている。動物に触れる場合は、発疹を完全に覆い、発疹と動物が接触しないようにしている。 不織布マスクを適切に着用する。	Proventing Spread to		

問い合わせ先

CDC. Monkeypox: If You Have Monkeypox: Preventing Spread to Others. https://www.cdc.gov/poxvirus/monkeypox/pdf/Preventing-Spread-to-Others-InfoSheet.pdf を許可を得て翻訳・一部改変したものです。 製作 感染症コミュニケーション円卓会議 第1版、2022.12.06 第2版、2023.05.26